

災害時の応援協力に関する協定書調印式

5/22

災害が発生した場合の応援協力に関する協定を締結しました。大村市社会福祉協議会と大村青年会議所、市の3者間で締結したのは九州初。災害時に市と社協が設置する災害ボランティアセンターで、青年会議所の会員のネットワークを生かして協力していただきます。



← 3者で災害時の協定書調印式を確認しました。

ネットワークを活用して協力を

民生委員制度創設100周年記念講演

5/12

民生委員制度創設100周年を記念した講演会が、さくらホールで開催されました。民生委員は、住民の立場に立って相談に応じ、専門機関への橋渡し役を担うなど、地域福祉の担い手として日々活動されています。皆さんは自身の活動を重ね合わせながら、講師の話に聞き入っていました。



← 講演には、民生委員の皆さんが参加しました。

地域福祉の長い歴史

大村市危険箇所状況視察

5/24

雨による災害に備えるため、防災関係機関合同で市内の危険箇所を視察しました。原町の土砂災害警戒区域と、立福寺町の井龍排水路を視察。現地では、園田市長をはじめ警察や消防などの関係機関が担当者の状況説明を受け、災害への対策を話し合いました。



← 原町の土砂災害警戒区域を視察する一行。

災害対策のための体制確認

大村市新幹線まちづくり推進協議会総会

5/17

官民で組織する大村市新幹線まちづくり推進協議会の総会が開催されました。新幹線の建設や新大村駅(仮称)の周辺整備について進捗状況を説明。そのほか、「北海道新幹線開業に向けた函館の取り組み」と題して基調講演も行われ、開業の効果を生かす取り組みに耳を傾けました。



← 今後のまちづくりについて考えました。

大村市の新しいまちづくりのため

大村湾魅力発信イベントの開催

6/6

大村湾魅力発信イベントが、東京丸の内で開催されました。100人を超える参加者に向けて、大村湾の魅力をプレゼンテーション。各自治体の食材を使った試食会などで、その魅力を存分にPRしました。今後も大村湾流域の活性化を目指し、5市5町で協力して取り組んでいきます。



← 大村湾の魅力をプレゼンテーション。

大村湾を活かして魅力発信

国道34号大村・諫早間整備促進期成会総会

5/19

交通渋滞が慢性化している国道34号の大村市与崎から諫早市本野間について、早期4車線化の実現に向け、「国道34号大村・諫早間整備促進期成会」総会を開催しました。大村・諫早両市がさらに連携し、国や県などの関係機関へ強く要望していくことを確認しました。



← 大村・諫早両市で連携の意思を確認しました。

4車線化の早期実現を目指して